



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 高圧ガス工業株式会社  
コード番号 4097 URL <http://www.koatsugas.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹内 弘幸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 大北 隆行

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日

TEL 06-7711-2572

平成26年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	38,040	4.1	1,898	△8.8	2,162	△7.6	1,309	8.2
26年3月期第2四半期	36,508	△3.3	2,082	△7.3	2,341	△5.4	1,210	△10.9

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 1,764百万円 (5.4%) 26年3月期第2四半期 1,672百万円 (73.0%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
27年3月期第2四半期	23.71		—	
26年3月期第2四半期	21.98		—	

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
27年3月期第2四半期	72,446		44,269		59.9	786.90		
26年3月期	72,136		42,874		58.3	761.64		

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 43,449百万円 26年3月期 42,068百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年3月期	—	6.00	—	7.00	13.00
27年3月期	—	7.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,000	3.0	4,800	2.6	5,300	1.9	3,000	0.9	53.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	55,577,526 株	26年3月期	55,577,526 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	350,479 株	26年3月期	343,940 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	55,229,878 株	26年3月期2Q	55,055,961 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済政策の効果や米国景気の堅調な推移などを背景として緩やかな回復基調が続きましたが、原材料価格の上昇や消費増税に伴う駆け込み需要の反動などにより、依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、グループ全体の販売体制の強化や経営の効率化に努めながら積極的な営業活動を推進してまいりました結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は380億40百万円（前年同期比4.1%増加）、営業利益は18億98百万円（前年同期比8.8%減少）、経常利益は21億62百万円（前年同期比7.6%減少）、四半期純利益は13億9百万円（前年同期比8.2%増加）となりました。

当第2四半期連結累計期間における、セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① ガス事業

ガス事業を取り巻く環境は、建設、鉄鋼、電機、化学、半導体など仕向け先全般にわたり緩やかな回復傾向で推移いたしました。

このような事業環境のなか、主力製品の『溶解アセチレン』は、造船業界向け及び建設、橋梁など公共工事向けに一部の需要が回復し、売上高は前年同期を上回りました。『その他工業ガス等』は、窒素、アルゴン、炭酸ガスが新規需要先の獲得及び電機、化学、半導体向けに需要が回復し、酸素が建設、鉄鋼向けに一部の需要が回復しました。また、LPガス等の石油系ガスは新規需要先の獲得及び輸入価格の上昇に伴い増加し、売上高は前年同期を上回りました。『溶接溶断関連機器』は、設備投資や工事需要の回復に伴い、売上高は前年同期を上回りました。『容器』は、消火装置用容器が減少し、売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は285億40百万円（前年同期比6.2%増加）、営業利益は19億83百万円（前年同期比10.8%増加）となりました。

#### ② 化成品事業

化成品事業を取り巻く環境は、住宅着工件数の減少、また、世界的な原料高という厳しい状況が続くなか、新しい技術の開発に注力し、環境にやさしい製品や付加価値の高い製品の開発に努めました。

『接着剤』はペガールが、海外向けの木工用が需要を伸ばし、塗料用は新規需要先の開拓により増加しましたが、土木、建築用が建材向けを中心に減少しました。シアノンは、海外向けが円安の影響、高機能品の市場開拓により増加したものの、国内向けが減少し、売上高は前年同期並みとなりました。

『塗料』は、遮熱塗料、エアゾール製品の販売が増加したものの、天候不順による工事減少に伴い建築用塗料が減少し、売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は90億3百万円（前年同期比0.6%増加）、営業利益は4億53百万円（前年同期比33.0%減少）となりました。

#### ③ その他事業

その他事業は、鉄道向けのLSIカードの需要が増加しましたが、海外向け光学機器等の需要が大幅に減少し、売上高は前年同期を下回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4億96百万円（前年同期比29.4%減少）、営業利益は46百万円（前年同期比62.1%減少）となりました。

(売上高内訳)

(単位：百万円)

事業	区 分	第 81 期 第 2 四半期連結 累計期間	第 82 期 第 2 四半期連結 累計期間	増減額	増減率
ガス事業	溶解アセチレン (水酸化カルシウムを含む)	2,583	2,765	182	7.0%
	その他工業ガス等	13,770	14,580	810	5.8%
	溶接溶断関連機器	8,306	9,159	852	10.2%
	容器	1,335	1,259	△75	△5.6%
	その他	729	641	△87	△11.9%
	営業収入	134	132	△2	△1.5%
	合 計	26,860	28,540	1,680	6.2%
化成品事業	接着剤	2,680	2,662	△17	△0.6%
	塗料	4,067	3,887	△179	△4.4%
	その他	2,192	2,447	254	11.6%
	営業収入	4	5	0	19.9%
	合 計	8,944	9,003	58	0.6%
その他事業	L S I カード	225	284	58	26.0%
	その他	478	212	△265	△55.5%
	合 計	703	496	△206	△29.4%
合 計		36,508	38,040	1,532	4.1%

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億10百万円増加して724億46百万円となりました。流動資産は、現金及び預金、棚卸資産が増加したものの、売上債権が減少し前連結会計年度末に比べ8億54百万円減少し、415億28百万円となりました。固定資産は、有形固定資産及び投資有価証券の評価額の増加により前連結会計年度末に比べ11億64百万円増加し、309億18百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、仕入債務及び未払法人税等が減少したことなどにより前連結会計年度末に比べ10億84百万円減少して281億77百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、利益剰余金、その他有価証券評価差額金の増加により前連結会計年度末に比べ13億95百万円増加して442億69百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、136億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億30百万円増加しました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は、24億61百万円（前年同期比306.8%増加）となりました。

これは主に、法人税等の支払額が12億49百万円及び仕入債務の減少額が5億38百万円あったものの、税金等調整前四半期純利益が21億38百万円、売上債権の減少額が14億22百万円及び減価償却費が8億3百万円あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は、20億13百万円(前年同期比138.3%増加)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出が16億31百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は、3億55百万円(前年同期は3億96百万円の収入)となりました。

これは主に、配当金の支払いが3億86百万円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、平成26年5月15日に発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直した結果、退職給付見込額の期間帰属方法については期間定額基準を継続適用し、割引率の決定方法については、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法に変更しています。

なお、当該変更による損益等への影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,505	13,650
受取手形及び売掛金	23,656	22,225
電子記録債権	648	668
商品及び製品	2,317	2,564
仕掛品	382	454
原材料及び貯蔵品	1,172	1,098
繰延税金資産	711	707
その他	168	311
貸倒引当金	△180	△153
流動資産合計	42,382	41,528
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,501	5,527
機械装置及び運搬具(純額)	2,335	2,589
土地	12,527	12,516
建設仮勘定	361	281
その他(純額)	869	901
有形固定資産合計	21,595	21,816
無形固定資産		
のれん	56	42
その他	177	385
無形固定資産合計	234	427
投資その他の資産		
投資有価証券	7,182	7,951
繰延税金資産	38	20
その他	783	779
貸倒引当金	△80	△76
投資その他の資産合計	7,924	8,674
固定資産合計	29,753	30,918
資産合計	72,136	72,446



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,243	11,815
電子記録債務	4,510	4,397
短期借入金	2,546	2,576
1年内返済予定の長期借入金	123	137
未払法人税等	1,248	838
賞与引当金	1,086	1,103
その他	2,675	2,188
流動負債合計	24,434	23,055
固定負債		
長期借入金	3,140	3,157
繰延税金負債	552	756
退職給付に係る負債	195	267
役員退職慰労引当金	52	41
その他	886	898
固定負債合計	4,827	5,121
負債合計	29,262	28,177
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,885	2,885
資本剰余金	2,776	2,776
利益剰余金	35,251	36,213
自己株式	△181	△185
株主資本合計	40,731	41,690
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,610	2,057
為替換算調整勘定	-	△15
退職給付に係る調整累計額	△273	△282
その他の包括利益累計額合計	1,336	1,758
少数株主持分	805	820
純資産合計	42,874	44,269
負債純資産合計	72,136	72,446

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	36,508	38,040
売上原価	26,513	27,837
売上総利益	9,995	10,203
販売費及び一般管理費	7,912	8,305
営業利益	2,082	1,898
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	82	81
受取手数料	65	72
負ののれん償却額	0	-
その他	211	195
営業外収益合計	363	350
営業外費用		
支払利息	35	31
その他	68	55
営業外費用合計	104	86
経常利益	2,341	2,162
特別利益		
負ののれん発生益	-	6
特別利益合計	-	6
特別損失		
投資有価証券売却損	0	-
投資有価証券評価損	-	29
ゴルフ会員権評価損	9	-
その他	-	0
特別損失合計	10	29
税金等調整前四半期純利益	2,331	2,138
法人税、住民税及び事業税	836	837
法人税等調整額	175	△29
法人税等合計	1,012	807
少数株主損益調整前四半期純利益	1,319	1,331
少数株主利益	109	21
四半期純利益	1,210	1,309

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,319	1,331
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	353	457
為替換算調整勘定	-	△15
退職給付に係る調整額	-	△8
その他の包括利益合計	353	432
四半期包括利益	1,672	1,764
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,560	1,730
少数株主に係る四半期包括利益	112	33

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,331	2,138
減価償却費	723	803
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1	△13
賞与引当金の増減額(△は減少)	△106	8
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△26	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	58
前払年金費用の増減額(△は増加)	△89	-
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△17	△10
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△93	△95
受取利息及び受取配当金	△85	△83
支払利息	35	31
負ののれん発生益	-	△6
投資有価証券売却損益(△は益)	0	-
投資有価証券評価損益(△は益)	-	29
ゴルフ会員権評価損	9	-
売上債権の増減額(△は増加)	835	1,422
たな卸資産の増減額(△は増加)	20	△222
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,853	△538
未払消費税等の増減額(△は減少)	69	218
その他	△389	△82
小計	1,365	3,658
利息及び配当金の受取額	85	83
利息の支払額	△35	△31
法人税等の支払額	△809	△1,249
営業活動によるキャッシュ・フロー	605	2,461
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△42	△42
定期預金の払戻による収入	42	28
有形固定資産の取得による支出	△805	△1,631
有形固定資産の売却による収入	-	1
投資有価証券の取得による支出	△58	△131
投資有価証券の売却による収入	0	1
無形固定資産の取得による支出	△7	△242
その他の支出	△52	△31
その他の収入	78	33
投資活動によるキャッシュ・フロー	△844	△2,013
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	170	8
長期借入れによる収入	1,300	100
長期借入金の返済による支出	△628	△70
配当金の支払額	△440	△386
その他の支出	△5	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	396	△355
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	△8
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	155	83
現金及び現金同等物の期首残高	14,456	13,483
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	47
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,611	13,614

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	26,860	8,944	703	36,508	—	36,508
セグメント間の内部 営業収入又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	26,860	8,944	703	36,508	—	36,508
セグメント利益	1,789	678	122	2,590	△507	2,082

(注) 1 セグメント利益の調整額△507百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	28,540	9,003	496	38,040	—	38,040
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	28,540	9,003	496	38,040	—	38,040
セグメント利益	1,983	453	46	2,483	△585	1,898

(注) 1 セグメント利益の調整額△585百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。